

さいたま市地域スポーツクラブ活動体制整備研究協議会

令和5年7月28日(金)
消防庁舎 オペレーションルーム

地域運動部活動推進事業(スポーツ庁委託)



部活動×地域人材

目的 休日(土日)部活動における指導者派遣

- ・生徒にとって望ましい部活動の環境を構築する観点から、部活動ガイドラインを策定し、部活動の適正化を推進している。
- ・学校の働き方改革は喫緊の課題であり、**部活動を学校単位から地域単位の取組**とすることが指摘されている。
- ・部活動における教師の負担軽減に加え、部活動の指導等に意欲を有する**地域人材の協力**を得て、生徒にとって望ましい部活動の実現を図るものである。

活動実績

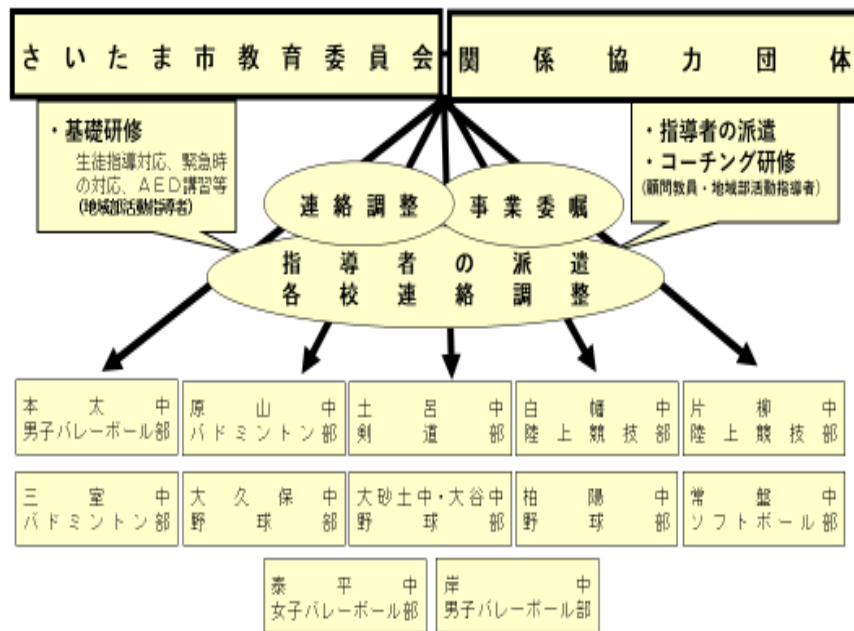
<令和3年度>

- 市内中・中等教育学校 5校
- 5部活
- 1種目(野球)
- 県野球協会から指導者派遣
- 年間20回
- 1日3時間
- 1時間1,500円

<令和4年度>

- 市内中学校 13校
- 12部活
- 6種目(野球-剣道-陸上-バドミントン-バレーボール-ソフトボール)
- 市スポーツ協会,県野球協会から指導者派遣
- 年間30回
- 1日3時間
- 1時間1,500円

R4年度さいたま市地域運動部活動組織図



令和3年度 未来の教室（「未来のブカツ」）実証事業（経済産業省）

①「新しい放課後スポーツ」を想定したニーズの検証

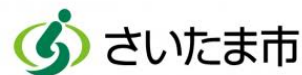
➡市立中学校の教員・生徒・保護者に対するアンケート実施（約8,500件回収）

対象：さいたま市立中学校在籍の生徒（1年生～3年生）その保護者、教員

生徒：4,729人 保護者：2,408人 教員1,328人 実施期間：2021年11月～12月



日本政策投資銀行



【アンケート結果】

- 生徒
 - 部活動が「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」 **84.9%**
 - （理由）友達や先輩・後輩と一緒に活動できる**77.8%** 学校生活の思い出になる(学校に愛着や一体感が生まれる) **69.2%**
 - 外部指導者による指導は「よいと思う」「どちらかといえばよいと思う」 **77.4%**
- 保護者
 - 部活動が「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」 **92.0%**
 - 部活動で学校の先生以外の有資格者や競技者・インストラクター等による質の高い・専門的な指導を受けさせたい **59.0%**
- 教員
 - 学校教育における部活動について課題が「あると思う」「ややあると思う」 **95.1%** →教員にとって負担 **77.5%**
 - 部活動の地域移行には「賛成」が**49.8%**「反対」 **15.7%**
 - （賛成理由）教員にとって部活動の負担が大きい**81.4%**（反対理由）生徒指導上の問題が多く発生する恐れがある **76.1%**
 - 兼職兼業で休日の指導を 「行いたい」「どちらかというも行いたい」 **39%**

②プロスポーツクラブから部活動の現場への指導者提供の実証

➡市立大成中バスケットボール部に、さいたまブロンコスの選手・指導者を派遣（R3.10月～12月）

➡同部の部員・顧問教員に対するヒアリング



令和4年度 未来の教室（「未来のブカツ」）実証事業（経済産業省）

実施校：さいたま市立片柳中学校

対象部活動：運動部

対象生徒：167名（1・2年生）

特徴：少子化の影響により、学校部活動の在り方について、早くより検討を進めていた中で立ち上げを検討している「かたやなぎクラブ」について、地元の協力者や教員、保護者等が協力しながら「地元の人財で自走するクラブ」（ミニ統括団体）として、部活動の地域移行の受け皿モデルの一つの形を検証するもの。（R4.10月～12月）

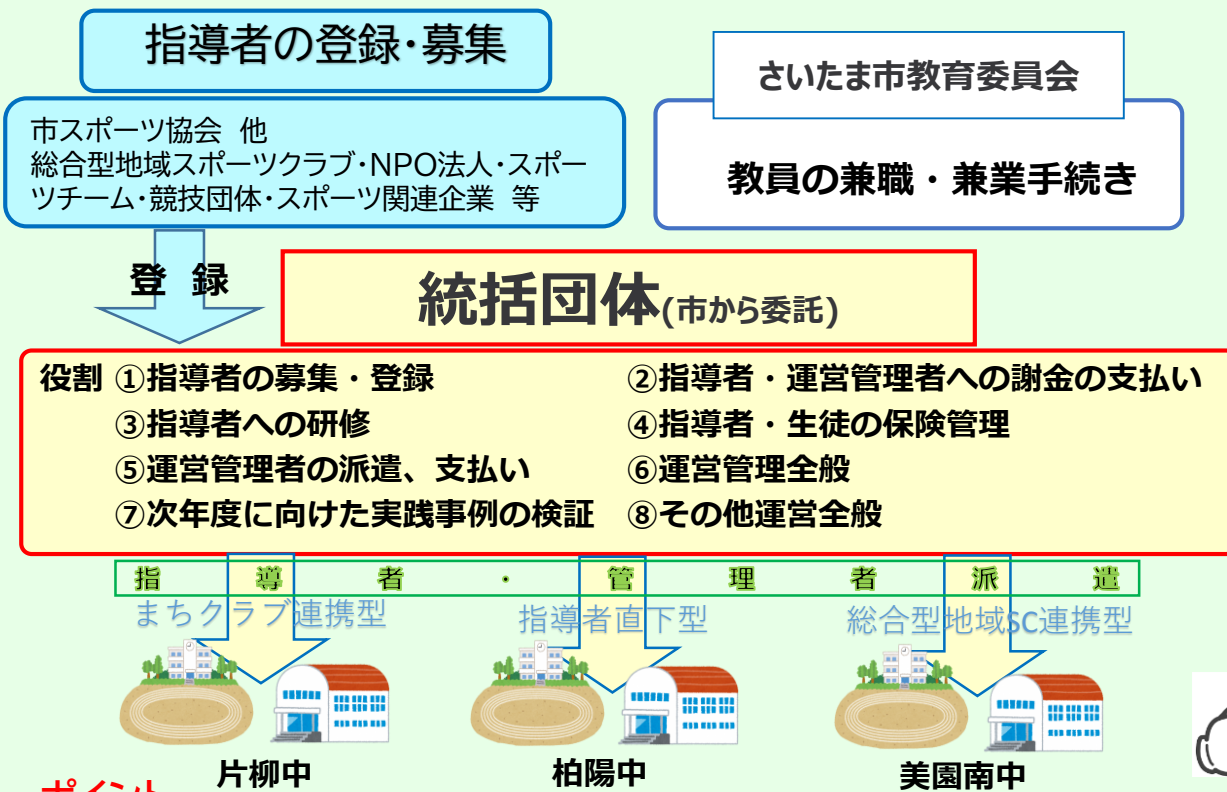


R4年度部活動地域移行に係る意見交換会・関係者会議

令和4年7月29日（金）・令和5年3月7日

部活動の地域移行に係る関係団体が、部活動地域移行の進むべき方向性や本市での部活動地域移行に期待する点と課題について意見交換を実施

①モデル校3校において統括団体による運営の実証

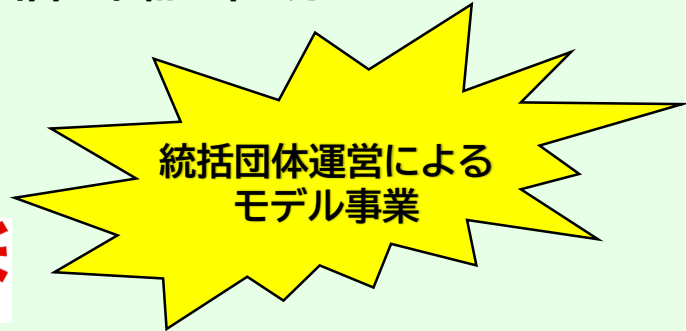


ポイント

- 指導者派遣や管理・運営は、統括する団体組織が担うため、土日の部活動に関しては、学校の管理下外で行う。
- 事業は土日のみで行い、活動についてはガイドラインに準ずる。
- 平日の活動については、これまで通り顧問が行う。
- モデル校は、土日に活動している運動部活動の他に、文化部も対象。
- 顧問が土日の指導を希望した場合は、統括団体に指導者登録をし、指導する。
- 土日の指導を希望しない顧問に関しては、統括団体より指導者を派遣する。

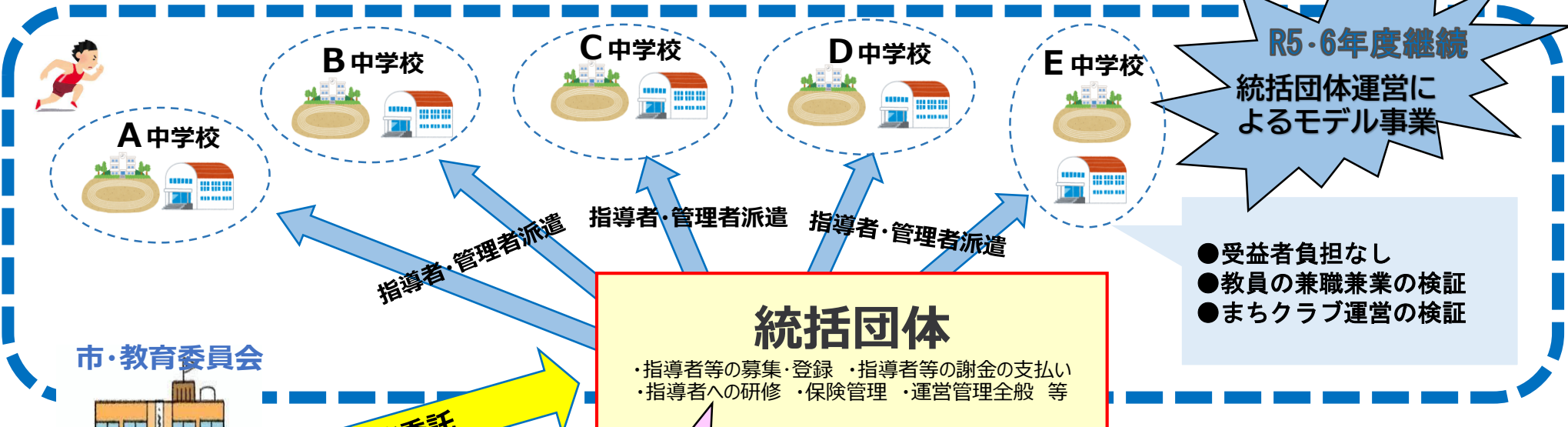
②協議会の設置

- ①ワーキンググループによる協議 (各部署担当者等)
 - ↓
 - ②プロジェクトチームによる協議 (各部署5部長会議)
 - ↓
 - ③協議会による意見聴取 (開催予定日)
- 1回目：令和5年7月28日
2回目：令和6年3月



令和6年度のモデル事業について（案）

- 〔R5からの継続事業〕
- 統括団体からの指導者派遣による実証事業 モデル校3校から**5校程度**へ拡大 ●**受益者負担なし**は継続
- 〔R6からの新規事業〕
- モデル区を設定**し、全生徒を対象として希望の参加による**地域スポーツクラブの創出**
- 参加希望生徒から**受益者負担を想定**



さいたま市における新たな子どものスポーツ・文化環境の構築のロードマップ（イメージ）

現状のままの未来

子どもたちのスポーツや文化活動を担う学校での部活動が先細りすることで、スポーツや文化活動の機会が減少する

教育的意義
部活動が担っていた教育的効果を学校でどのように担っていくか。

意識改革
学校の教員等の意識改革

いま
R5統括団体モデル事業
R5協議会の開催（設置）
改革推進期間における実証計画

2022 (R5年度)

学校 現在地

部活動の地域移行提言等

学習指導要領の改訂
2029 (R11年度予定)

改革××期間
(フェーズ2)

改革推進期間
(フェーズ1)

新たなスポーツ・文化環境の構築に向けた取組

数十年後

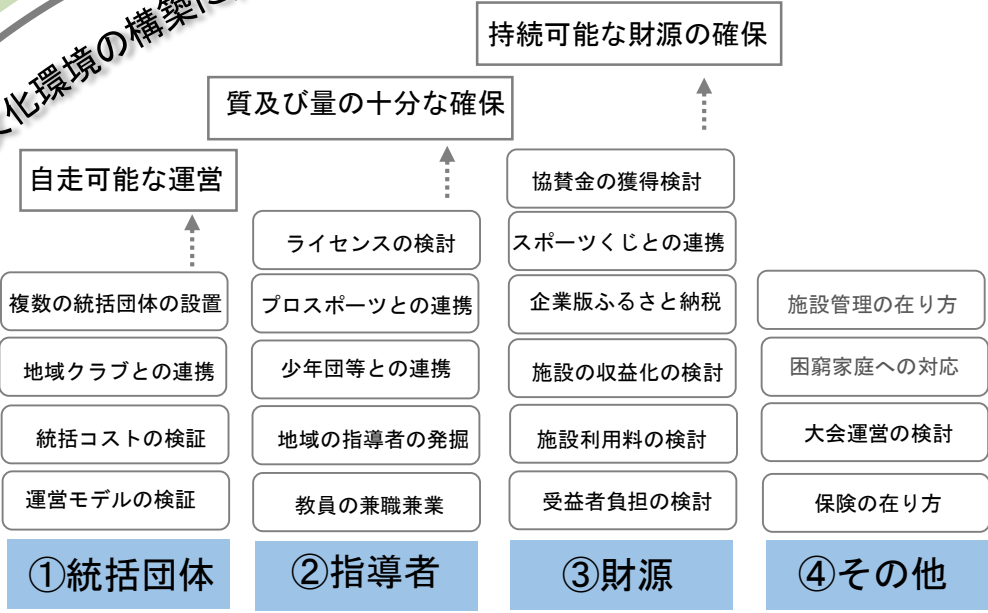
20××
持続可能な環境

目指していく姿（ビジョン）

子どもたちが、地域の中で、自分の興味に応じてスポーツや文化活動を楽しむ

生徒の興味関心に応じてスポーツや文化活動の機会が確保され、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフや文化活動に親しめる生活を実現する

課題



【必要性】

地域

- 地域におけるスポーツ・文化の活動機会の確保
- 地域の子どもの多様なニーズにあった活動の充実
- 地域の子どものスポーツ・文化の振興

【現状】 > 部活動指導を担う教員の7割が、部活動顧問として負担感を感じており、主な理由として「校務と部活動の両立」を挙げている。
> 人口増加する本市においても、生徒数の減少により合同部活動の実施や、部の減少が起きている中学校が存在し始めている。

【必要性】 ● 部活動の在り方を整理、整備することで、子どもたちのスポーツ文化の機会を確保し、豊かな教育活動を営む

他の自治体の取組と本市の状況について

実施自治体	実施年度	実施形態	実施種目・部活数等	委託先等	委託費等	備考(課題等)
埼玉県 白岡市	令和3年度 から	全校(4校) 週1回(休日)	剣道、ソフトテニス、バス ケ、卓球、吹奏楽、ダンス (合同部活)延べ10部	スポーツデータバンク (株)	200万~300万 ※受益者負担なし	・受益者負担を導入したと きに、参加率が低下する ことが課題
茨城県 つくば市	平成30年 度から	運動部全て・吹奏 楽部	希望生徒による参加	総合型地域スポーツク ラブを運営する NPO 法人	<指導者謝金> 6,600円/回 <保護者受益者負担> 1,250円/月	・少子化に伴う活動環境減 少の抑止 ・生徒の活動意欲を維持、向 上させる体制構築
茨城県 つくば市	令和4年度	義務教育学校1校 で部活動の一部を 外部委託	サッカー、野球、陸上、バ レーボール、バスケットボ ール、テニス、剣道、卓 球、吹奏楽、美術、科学	地元企業	<指導者謝金> 平日:4,000円/回 休日:8,000円/回 <保護者受益者負担> 3,850円/月	・参加記希望制のため、参加 を希望しない生徒は通常の 活動に参加
東京都 渋谷区	令和4年度	区内全8校の中学 校 毎週土曜日	サッカー、ボウリング、ダ ンス、ボッチャ、フェンシ ング、ラグビー、将棋、パ ソコン、Eスポーツ	一般社団法人渋谷ユナ イテッド	約3,600万 区からの業務委託 参加料として、 500円/回	・生徒のニーズに応じた種目 の設置 ・チーム編成が困難な合同 化、地域化 ・顧問の負担軽減を図り、適 切な教育体制を構築
横浜市	令和5年度	12校 15部活 土日どちらか1日	バスケットボール バレーボール バドミントン サッカー、水泳	リーフラス株式会社 (一社)GODAI スポー ツライフ 株式会社サクシード	市からの業務委託	・複数の統括団体が業務委託 を受け、運営をしている。 ・R3 年度から業務委託を実 施している。
川崎市	令和5年度	モデル校10校 土日どちらか1日	4校運動部5種目 6校文化部1種目 合計26部活	公募制 (プロポーザル) 3社が業務委託 地元大学連携	市からの業務委託	モデル校10校の内訳 統括団体の運営 運動部4校、文化部1校 地元大学との連携 文化部5校(吹奏楽部)
さいたま市	令和5年度	モデル校 3 校す べての部活動が対象	運動部:18種目(36部活) 文化部4種目(6部活)	合同会社 Fountain	市からの業務委託 ※受益者負担なし	・1校全体に指導者派遣をする。 ・統括団体より指導者派遣